

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	人工血液透析通院交通費助成				開始年度	平成10年度	
基本目標	在宅福祉の充実				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	社会福祉係	記入者	押川 嘉子	評価者	井上敏郎
21年度決算	141	千円	22年度予算	228	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	291 千円		22年度人件費	289 千円		事業従事者数	0.04 人 0.04 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	透析患者の通院交通費助成をおこない、経済的負担の軽減を行う。
事業の内容	人工血液透析治療を受けている者に対し、通院するために公共交通機関へ支払った交通費の助成を行う。 (限度額 町内3,000円/月 町外4,000円/月)

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 助成件数	公共交通機関を利用して人工血液透析療法を受けている障がい者の負担軽減を図る。
	2 助成実人員	実際に何人の人工血液透析患者の負担軽減が図られたのか。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 助成額	公共交通機関を利用して人工血液透析療法を受けるために要した経費の負担軽減額。
	2	
3		

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	助成件数	目標値	19	15	18
		実績値	19	15	
		達成率	%	100.0%	100.0%
	助成実人員	目標値	13	6	7
		実績値	13	6	
		達成率	%	100.0%	100.0%
	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	助成額	目標値	300,000	180,000	228,000
		実績値	236,060	140,500	
		達成率	%	78.7%	78.1%
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	事業廃止を検討したが、1日おきに通院を必要とする透析患者の負担軽減に寄与しており、平成20年度から公共交通機関を利用した場合のみに限定して助成を行うこととなった。 透析患者のほとんどは重度身体障がい者への医療費助成も受けており、病院によっては送迎サービスも受けている。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	人工血液透析を行うために家族等の送迎が不可能で、公共交通機関を利用せざるを得ない患者の経済的負担の軽減が図られている。 平成20年度の改正時、継続及びガソリン代支給の要望もかなり寄せられたが、通院時のガソリン代算定は困難なため、当面は現行制度を維持したい。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	年々人工血液透析患者は増加していると思われるが、公共交通機関利用者に限定したことで、経費や時間は大幅に削減された。もともと4半期に1回の申請としているため、これ以上の事務時間の削減は難しい状況にある。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	可能性はない

事務事業名	人工血液透析通院交通費助成	担当課(局)	健康福祉課
-------	---------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	平成20年度に制度の見直しを行ってきたが、他の障害者等との不均衡を是正するため、平成24年度廃止に向けて検討する。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持				
			縮小				
			廃止	○			
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	廃止	◎一人世帯あるいは通院手段のない患者には負担軽減となるが、透析患者以外の障害者との不均衡が生じていることから廃止は止むを得ない。 ◎廃止に向けては慎重な検討が必要である。対象者の制限などで様子を見てはどうか。 ◎透析患者に限らず、交通弱者対策として総合的な検討が必要である。
	コスト	廃止	